



2017年度 年主題〈愛されて育つ〉

0・1・2歳児 11月主題 「いっしょに」
月のねがい
◎保育者と一緒に神さまに祈る
◎秋の実りを味わう
◎木の実や枯葉にふれ、深まりゆく秋を楽しむ
◎野菜や果物が神さまからの恵みと知る
◎思いや主張、甘えを受け止めてもらいながら、安心して生活する
◎木の実や落ち葉などの自然に触れて楽しむ

3・4・5歳児 11月主題 「一緒に」
月のねがい
◎豊かな秋の実りを喜び、神さまに感謝する
◎アイデアを出し合ったり、相談し合い、イメージを共有しながら遊ぶ
◎いろいろな人の働きに心をむける



ガリバーの運動会を終えて...

2学期がスタートしてはや2ヵ月が過ぎ、早くも後半を迎えました。様々な行事を行っておりますが、その度にたくさんの保護者の皆様の応援、ご協力に心から感謝しております。まことにありがとうございます。

運動会も良いお天気の中、無事に終わりました。今年度のテーマは絵本「ガリバーの冒険」から広がっていきました。架空の人物を身近に感じ、さもそこにいるのでは...という雰囲気を出すことに苦労しました。その過程で子どもたちの何気ない一言に、アイデアやヒントをもらったりと、みんなで作り上げたガリバーの運動会でした。実は、このガリバーさんの取り組は、運動会が終わった今でも続いています。「ガリバーさんの大事な旗を守る!」というミッションを立て、旗を海賊に取られないように、一日交替で子どもたちが守ってくれています。旗を守りたいけど、海賊に狙われる!という怖い思いもしなければいけません。まさに、めいろっこのキャッチフレーズでもある「タンケン・タイケン・タイヘン」です。大変なことにも勇気を持ってチャレンジできるお友だちが増えていけばいいな...と応援する毎日です。

さて、次はクリスマス会です。先日、年中長さんは昨年の聖誕劇のDVDを見て、今年はどんな役をやりたいかを考える時間をもちました。「オレは、やっぱりサンタがいいな!」というお友だちも!!子どもたちと一緒にワクワクする秋を楽しみたいと思います。

森山

今月の聖句 「平和をつくるものは幸いです。」 マタイ 5:9

平和を願わない人はいないでしょう。しかし、現実には平和とは程遠い戦争、紛争の連続です。日本もかつて清朝中国、ロシアと戦火を交えました。続いて中華民国(今の中国)、アメリカ、イギリス、オランダ等と戦争状態になりました。戦争のきっかけは経済的困窮打開のため、朝鮮や満州に進出したことに始まり、世界戦争にまで拡大したのです。昭和20年8月15日昭和天皇の裁断によって無条件降伏を受諾し、やっと戦争は終わりました。しかし、その後が大変。物資不足、特に食料難で多くの人々が栄養状態が悪くなり、命を失いました。自国の犠牲もさることながら、他国の罪なき人を多数殺戮いたしました。戦争は最大の罪悪です。

人命と生きる権利を奪ってしまう戦争は絶対に起こしてはなりません。防衛のためには戦争も致し方無いと考える向きもありますが、その前に、あらゆる手段をとって、戦争に至らない道を探さなければなりません。「剣を取るものは剣によって滅びる。」とキリスト様が教えています。戦争回避は忍耐と知恵と祈りによって成就します。損することを我慢し、忍耐強く話し合うことをする人。この人こそ「平和をつくるもの」と言えるでしょう。相手と話し合う時、まず自らが平和な人でなければならないことは、言うまでもありません。

前理事長 池田公榮

11月の行事予定

1日(水)	学校へ行こう!(年長児)
2日(木)	弁当日
7日(火)	11月誕生会
8日(水)	牛見学
10日(金)	ふれあいあそび
18日(土)	入園説明会11時~
22日(水)	クリスマス会予行
〃	弁当日

12月の行事予定

2日(土)	クリスマス会(弁当日)
5日(火)	もちつき大会
15日(水)	絵本の会クリスマス公演
12日(火)	12月誕生会
19日(火)	弁当日
20日(水)	クリスマスバイキング
21日(木)	終園式
28日(木)	御用納め・弁当日

2018年度入園説明会
11月18日(土) 11時より
1号入園願書受付開始
12月1日(金)
ご紹介を何卒宜しくお願いします!



クリスマス☆多バイキング



新採用職員紹介

10月から保育教諭としてスタッフに加わりました赤崎 彩です。子ども共々お世話になります。どうぞよろしくお願い致します。



もちつき



学校へ行こう!



すもう大会



いもほり

平和を守るミッション

今年の秋は、何故か連続して週末に到来する台風群でしなね。様々なイベントが中止になったりしたのはないでしょうか。本園はお陰様で、屋外の行事や活動はほぼ実施できて感謝でした。心地良い晩秋の日々を、身も心も弾ませて子どもたちと楽しみたいと思います。

先日、出張の際に思いがけず時間が取れたので、思いっきり映画を観ることにしました。何故か引き寄せられたのが、「バイドリヒを撃て!」という第二次世界大戦中のチェコスロバキアであった史実に基づいた映画でした。連合国から解放されてナチスドイツが占領された祖国チェコスロバキア。イギリスにある亡命政府が若い七人のパラシュート兵士にハイドリヒ暗殺計画を命令します。ユダヤ人虐殺を推進したと言われたナチス高官ナンバー3のハイドリヒ。退路を断った英雄的行為の後心には、時に多大な犠牲を伴うという容赦ない歴史の真実が胸に突きつけられます。このような史実があったことも知らないうで、軽い気持ちで選んだことに反省しきりでした。宿に向かう道すがら、ある歌詞が浮かんできました。ベトナム戦争さなかの65年に、谷川俊太郎さんと武満徹さんによって作られた「死んだ男の残したものは」といういわば反戦歌です。

死んだ男の残したものは ひとりの妻とひとりの子ども
他には何も残さなかった 墓石ひとつ残さなかった
死んだ女の残したものは しおれた花とひとりの子ども
他には何も残さなかった 着もの一枚残さなかった
死んだ子どもの残したものは ねじれた脚と乾いた涙
他には何も残さなかった 思い出ひとつ残さなかった
死んだ兵士の残したものは こわれた銃とゆがんだ地球
他には何も残さなかった 平和一つ残さなかった
死んだ誰かの残したものは 生きてる私生きてるあなた
他には誰も残っていない 輝く今日とまた来るあした
他には何も残っていない 他には何も残っていない

多くのアーティストが歌っていますので、よかったです。YouTubeで聞いてみてくださいね。戦争で得るものは何もなくて、その代償は計り知れません。子どもたちの夢は、平和という礎の上には描けるもの。平和をつくることは私たちの大切な使命です。朝夕はめつり肌寒さを感じることです。突然の発熱や感染症も流行り始めます。クリスマス会に向けて健康第一に鍛錬していきたく思います。なるべく薄着を心がけ、うがいや手洗いの励行を続けて冬に備えてまいりましょう。

園長

対応法
お母さんの決心と、お父さんの協力をもって決行!

断乳は母子にとってつらいこと。子どもの泣く姿に、お母さんが耐えられなくてあげてしまうことが一番多いので、どんなに泣いても、手を握ったり、子守歌をうたったりして通します。そのときだけはお父さんやおばあちゃんに寝かせてもらうようにすると、子どももあきらめてくれます。日中も、疲れてぐっすり眠れるように、たくさん体を動かして遊ぶと、心の満足感も得られ、おっぱいに気が向かなくなります。そうして過ごしていると、だいたい3日間くらいで断つことができます。激しく泣くので、水分補給が必要になることもあります。そんなときは、コップでお水やお茶などをあげて気持ちを落ち着かせると、それで寝てしまうこともあります。

断乳を決意する理由は、仕事復帰や次の子の妊娠、母乳トラブル、離乳食が進まないなど、たくさんあります。一般的には、母乳以外から栄養が摂れるようになる10か月~1歳前後チャンス。水分がたくさん必要になる夏場や、保育園の入園時期など変化があるときは、子どもにストレスがかかるので避けるとよいでしょう。ただし、夜だけおっぱいを求める子は、それが精神安定剤になっているので、2歳ごろまでの断乳をおすすめします。

